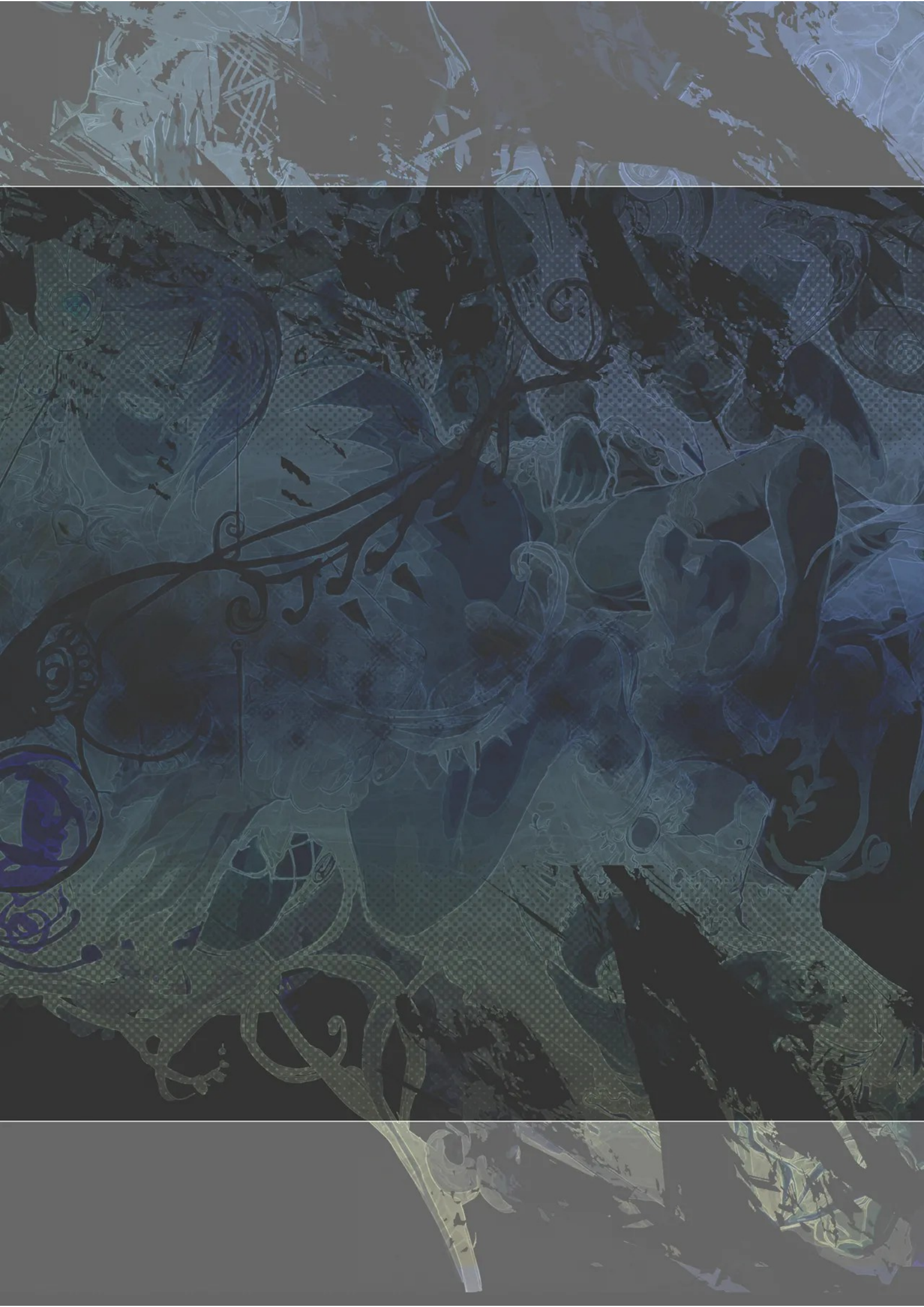


DOUJIN

R18

ADULT ONLY

望主服従
望主支配





若いの



若いの！

おい…
聞いているのか？



すみません…

しっかりしろ！



ぼーっとしやがって…
もうすぐ正騎士に
昇進するんだらう？

はっ…
はっ…
はいっ！





ところで隊長…

暴動を鎮圧しに行く割には
人手が少なくありませんか？

貴様…贅沢を言うな
本国は西の奴らと
ドンパチの真っ最中だ

一地方の亜人を
取り締まるなんぞ

これだけの隊員がいれば
まだマシな方だぞ？

はあ…



…隊長

もう一つ
いいですか

全く…

質問の多い奴だな

なんだ？



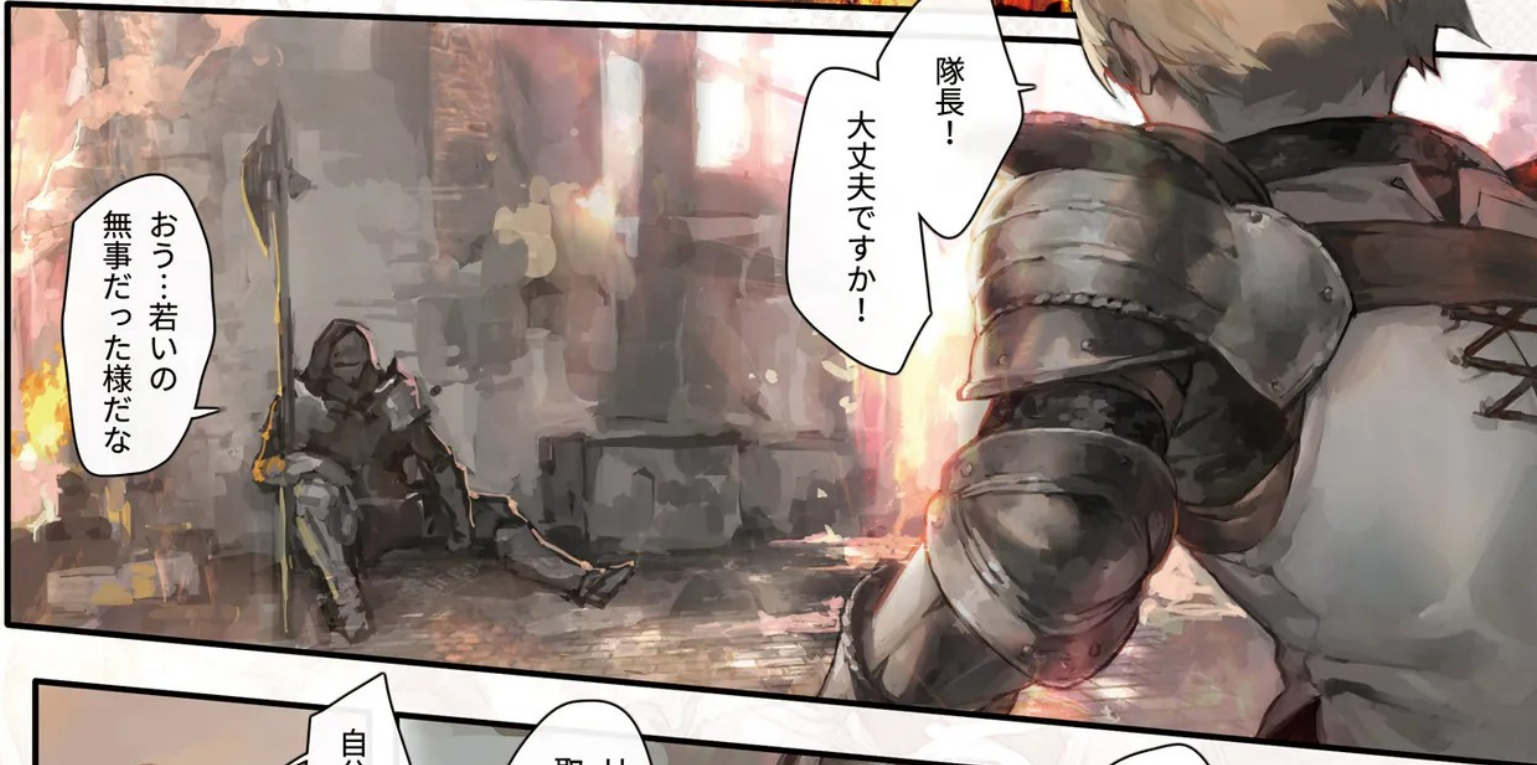
ロクでもない事を考えずに
任務に集中しろ！

えっ？

はいい！



なぜ…従魔達は
暴動を起こすんでしょう？



隊長！

大丈夫ですか！

おう…若いの
無事だった様だな



自分が追ってきます！

おい待て！
無茶をするな！



リーダーらしき奴を
取り逃がしたが…

今はまず隊を—

奴らめ…

まさか街ごと
燃やすとはな…

何人が捕らえましたが…
火がどんどん広がっています



状況は？



こっちも
ダメね…



止まれ！

！

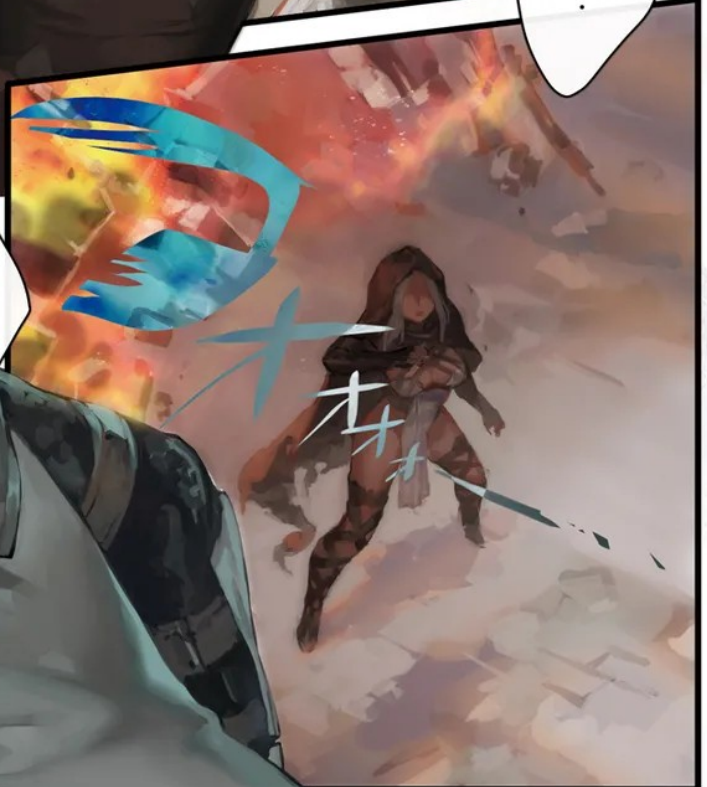
もう逃げ場はないぞ！
大人しく投降しろ！

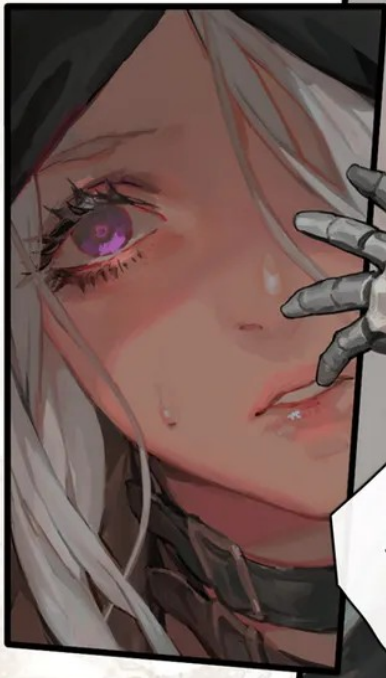


抵抗は…



危ないっ！





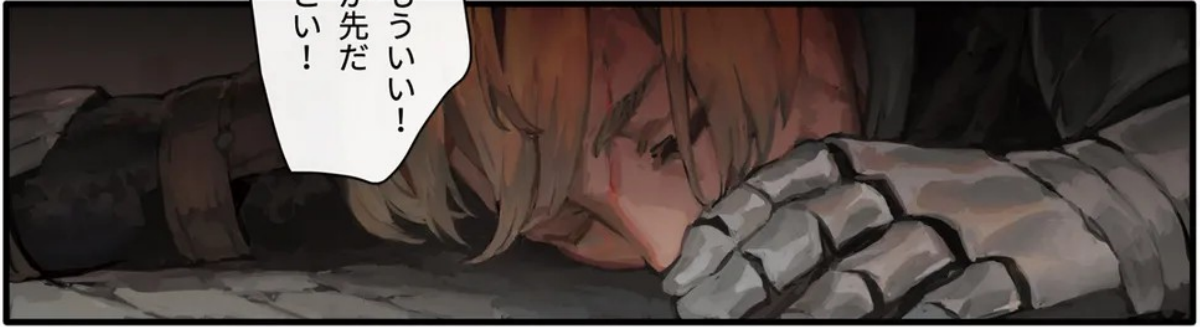
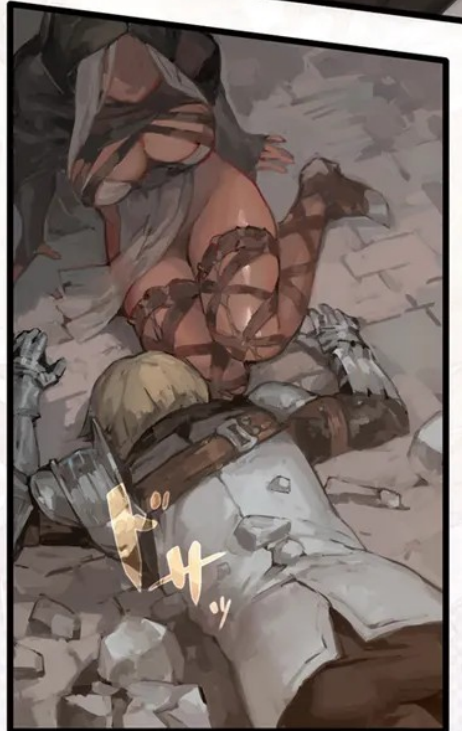
…っ！



ダメだ！
こっちも瓦礫で
通れない！

おい！
どうなってる！

チツ…もういい！
後始末が先だ
ついてこい！





「……は……？」



うっ……
うっ……



……街から
少し離れた廃屋よ

この辺りは
教会だったみたいね

……安心して
私も仲間と逸れて
この通り一人よ



それは私が
聞きたいわよ

何故だ？

キミが助けて
くれたのか？

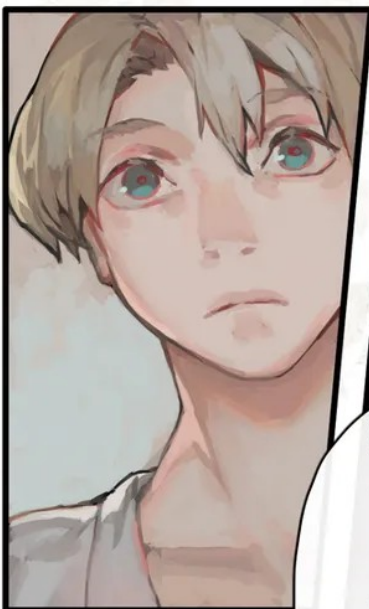


崩れた瓦礫が
あれだけぶつかって

よくかすり傷で
済んだわね



教えて！



あなたは私達を排除するために追ってきたんでしょう？



あの時…
どうして庇ったの？



なにそれ！
ふざけてるの？

…わからない



確かに俺は
従魔を鎮圧する
任務を受けてきた

その命令に従って
キミを捕らえる
つもりだった

だけど…
キミに降りかかる
瓦礫を目にして…

思わず身体が
動いてしまった



ああそうだよ！
悪かったな！

家畜も同然の従魔に
惚れたですって…？

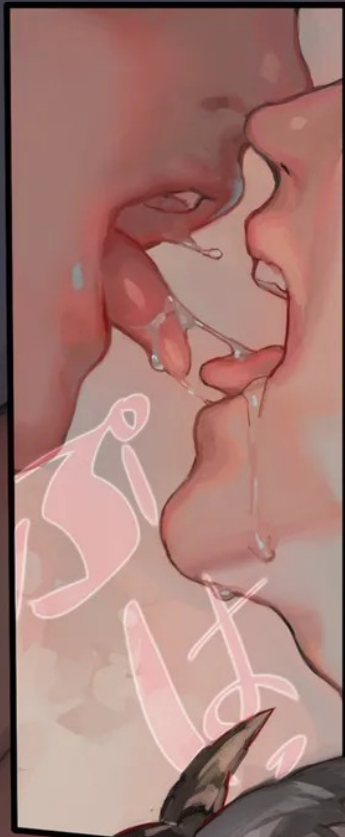
これで納得できないなら
惚れたとも思ってくれ！

理由になっていないのは
俺もわかってる！

いいえ…

惚れたのは
…私もよ

え…？
おい…？



…んっ
んんっ

う…



ただのお礼よ…
従魔が一番
得意なやり方で



する…
つもりだ…?

何を…



はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



はあ



うっ...
んっ

はあ

はあ



はあ

はあ

はあ

はあ



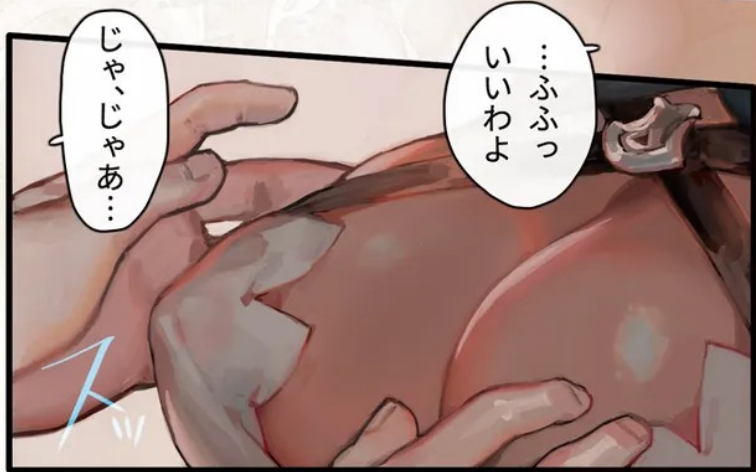
.....

最近結構溜まってた？

随分早く出したわね



すじく...濃い...



じゃじゃあ...

...ふふっ
いいわよ

え？

それ...
触ってみても...
いいか？



ん...

すっすっ
すじく...

思ったより
柔らかい...!



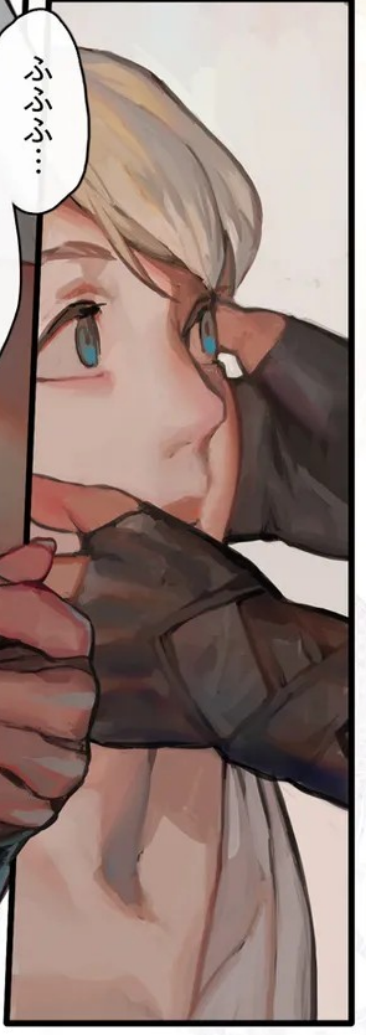
あなた…まさか初めて
女の胸を触るの？



まるで子供ね
そんなに楽しい？



もしかして…
こんなことを
するのも初めて？



ふふふ…
遠慮しなくて
いいわよ…

んん

はん

好きにしなさい

挿入してあげる…

ムラムラが
収まらない…!

くそっ!

そっでしようね

こんなビンビンにして
私の口だけじゃ
満足してなさそう…

ズッ

ビーン
ビーン

んっ…
…ここか…?

挿入れる所
わかる…?

ぬゅゅ

くさ



そう…
そのまま
挿入れて…

はぁん



はぁん



どう？
初めて女の中に
挿入れた気分は？

ぬるぬるして…
あったかい…

あとは…
ぐっすれば…

ふふふつ
思う存分
奥まで突いて…



あ

あ

あ

きも……ち
い……っ

キミの腹…
何か変な模様
が
浮かび上がってー

おっ…
おいっ…



服従のシルシよ…

普通は人間から
与えられる
モノなんだけど…

今は…私自ら
求めているの…



もう…
知らないの…?



つまりこれは主人に
絶対服従の証なの

私はこれからずっと
あなたの言いなりに
なるという事よ

えっと…
どういうことだ？



…いいのか？
俺達さつきまで
敵だったんだぞ？

その敵を庇って
惚れたのは
どこの誰かしら？



試しに何か
命令してみたらどう？



んっ…
なんでも…

いいわよ…

んっ

なんの…
命令だ…？

んっ
んっ



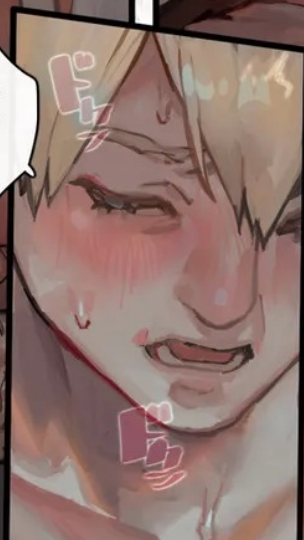
…あら？

んっ…！



毎晩こうやって
シテほしいとか…

あなただけの
下僕になるとか…





悪い…!
なんか…

もう我慢
できないっ…!

えっ?
庄
ぢゃのっ…

いいわよっ
出してっ!

全部出してっ!
ナカに出してっ!

出!

びび

びび

びび

命令じゃ…
ないわよ…

それ…



起きたか？
支度をしたら
とりあえず
ここから出よう



んん…



…城から離れる気？
私を連れ戻さないの？



シルシある従魔は
所有物として登録すれば
街に入れる方法があるんじゃない…

それをしたら
キミは一生
俺の奴隷として
扱われるだろう？

それは嫌なんだ

從魔は從順で
人間に仕える亜人だと
俺は聞いている

反発する者の
話を聞かずに
ただ黙らせる現状

俺が知らない裏が
どこかにある気がする…
それを知りたい

どうした？

何かおかしい
事でも言ったか？

いいえ
なんでも
ないわ…

でも行くあては
あるの？

まあ…
どこへでもあなたに
ついていくケド

そうだなあ…

まずキミの仲間達に
合わせてくれないか？

…いいけど

会っても
歓迎されると
思わないでね？

ええ…





[Title]

望ム服従/望マヌ支配



[Director] Aoin

[Cricle] Aoin's Bornfire

[Category] Original Artworks

[twitter] @AoinHatsu

[Pixiv ID] 617289

[Mail] Aoinhatsu@yhao.co.jp

[Release Date] 2020.JUN

[Localize] COMEX @afong_cp

[Print] PICO



